

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成28年9月1日(2016.9.1)

【公開番号】特開2016-8625(P2016-8625A)

【公開日】平成28年1月18日(2016.1.18)

【年通号数】公開・登録公報2016-004

【出願番号】特願2014-128018(P2014-128018)

【国際特許分類】

F 1 5 B 11/028 (2006.01)

F 1 5 B 11/00 (2006.01)

F 1 5 B 11/05 (2006.01)

E 0 2 F 9/22 (2006.01)

【F I】

F 1 5 B 11/02 P

F 1 5 B 11/00 M

F 1 5 B 11/05 A

E 0 2 F 9/22 L

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月14日(2016.7.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 3】

アンロード弁 1 5 は、閉方向作動側に原動機回転数検出弁 1 3 から出力された絶対圧 PGR (目標LS差圧) が導かれる受圧部 1 5 a を有し、かつ同じ閉方向作動側にバネ 1 5 b が配置されている。また、アンロード弁 1 5 は、開方向作動側に圧油供給路 5 の圧力 (メインポンプ 2 の吐出圧) P_p が印加され、閉方向作動側に最高負荷圧検出回路 9 によって検出された最高負荷圧 P_{lmax} が印加される構成となっている。アンロード弁 1 5 のセット圧は、絶対圧 PGR (目標LS差圧) とバネ 1 5 b の付勢力と最高負荷圧 P_{lmax} とによって規定される。すなわち、アンロード弁 1 5 のセット圧は、絶対圧 PGR (目標LS差圧) とバネ 1 5 b の付勢力の圧力換算値と最高負荷圧 P_{lmax} とを加算した圧力として与えられ、メインポンプ 2 の吐出圧 P_p がアンロード弁 1 5 のセット圧よりも高くなるとアンロード弁 1 5 は開状態になって圧油供給路 5 の圧油をタンクに戻すよう動作し、これによりメインポンプ 2 の吐出圧 P_p が目標LS差圧 PGR に バネ 1 5 b の付勢力の圧力換算値を加算した圧力よりも高くないように制御される。バネ 1 5 b の付勢力の圧力換算値は通常目標LS差圧 PGR よりも小さい値である。